

●ご利用者様、ご家族とらいつ職員をつなぐ架け橋●

らいつ通信(施設運営版)

令和2年8月号 第33号 制作：(株)らいつ TEL 03-5769-7266 編集担当：堀切

1.新型コロナウイルス感染拡大予防対策： 正しい知識で熱中症も新型コロナウイルスも乗り越える

新型コロナウイルスのみならず急激な気温や湿度の上昇についても報道され、熱中症で搬送される方も日に日に増加しております。ご高齢の方は、暑さへの適応能力が一般成人と比較して低下していることから、屋内でも熱中症になりやすいとされています。新型コロナウイルス対策も必要とされる中、これからさらに気候も厳しくなります。油断することなく熱中症予防対策も併せて、始めております。

当社では、オリジナルポスターや社内通知と合わせて、当社の指定医であるたかせクリニック高瀬理事長も委員として活動されている『教えて!「かくれ脱水」委員会』も活用し注意喚起しています。

熱中症は、暑さに正しく対応すれば必ず防げるものです。是非、ご活用ください。

『教えて!「かくれ脱水」委員会』発行 熱中症対策ポスター



高齢者は 特にご用心!

- ・汗をかきにくくなっています
- ・暑さを感じにくくなっています
- ・体温を下げるための体の反応が弱くなっています
- ・普段から、バランスのいい食事をしっかりとる

高齢者の体は、夏の暑さへ適応しにくくなっています。細心の注意を!

当社の職員の指導・教育と対策徹底のため、社内報も発行しています!

熱中症予防の ポイント

- ・室温は28度以下に保ち、エアコンや扇風機を使用する
- ・外出時は体温調整がしやすい服装を心掛ける
- ・帽子や日傘で、日よけ対策をする
- ・適度に休憩をする
- ・のどが渇く前に水分と塩分を補給する
- ・普段から、バランスのいい食事をしっかりとる

注意

第1465号 株式会社らいつ

本社機能強化PT News

コロナ禍で夏を迎える (熱中症、新型コロナを乗り越える)

熱中症とは?
高温多湿な環境下において、体内の水分と塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称。めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直、大量の発汗、頭痛、気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感、意識障害・痙攣・手足の運動障害、高体温などの症状が現れる。通常、体から熱を逃がすには汗をかく必要がありますが、上手に汗をかくには、暑さに徐々に慣れていく必要があるということです。普段はこの時期から、外出などで少しずつ暑さに慣れて、汗をかきやすいわば「夏の体」に変わるはすが、今年は外出の機会が減っているため、熱中症になるリスクが高まる懸念があると言われています。

適切な運動と入浴
適度に運動をしたり、時々お風呂につかったりして汗をかくことで、暑さに慣れることも有効です。ただ、その際は水分補給を忘れないようにして、体調管理を実施しながら、無理のない範囲で行ってください。

居室対応での注意
居室は意外と室温が上がりやすく、入居者個人でエアコンを動かしてしまったりする事もあり、居室に配慮をしたりする事で職員はいいいっばいになり、十分な水分と配布し忘れや、水分摂取量の把握が難しく、普段より摂取量が落ちる事があります。また、職員も居室に入居者がいる事で、充分観察ができない場合も多くあります。水分摂取量と室温には充分注意させ、職員はまめに状態の観察をしましょう。

経験のない夏!いつも以上に注意を
新型コロナと熱中症という両方の対策せざるを得ない、誰も経験したことのない夏になります。一人一人が熱中症に対していつも以上に注意をして、慎重になって対応する事がとても大切です。

第1466号 株式会社らいつ

本社機能強化PT News

徹底!! 熱中症対策 徹底しましょう

屋内で...
その方が今日一日、どれだけの水分を摂取しているか。水分チェック表は、脱水症防止の大切な指標です。改めて、不足しがちな方がいらっしゃらないか確認しましょう。
年を重ねると、室温の高さを感じにくくなります。「暑くないわ」「クーラーは結構です」とおっしゃられても、必ず室温を確認するようにして下さい。

屋外で...
外を長時間散歩するような、無理のあるスケジュールになっていませんか? 出発前に、十分な水分補給を行きましょう。

帽子やタオル等の直射日光の対策は、外出前に必ず行って下さい。

2.2020年8月より全施設にて 「フットケア(自費)サービス」を開始いたします

2020年7月より当社が運営する東京都、神奈川県で先行開始していたフットケア(自費)サービスですが、大変ご好評頂き2020年8月より株式会社らいつの全施設にて、実施することと致しました。

フットケアとは?

フットケアは、専門のフットケアスペシャリストにより月に1回の頻度で実施されます。実施内容の一例としては、巻き爪のケア、肥厚爪の適切な厚さへのケア、足裏や足指等の胼胝(タコ)や角質などのケア、皮膚の保湿等です(下記写真参照)。

ここでいうフットケアはネイルサロンなどで行われるものではなく、専用の道具などを駆使します。そのためフットケアは専門のスキルと知識を持っているスペシャリストが提供するものです。

特に我々が進めるフットケアは肥厚や巻き爪ケアを含むヘルスケア領域に寄与するもので、ネイルサロンで行われているものとは一線を画します。

フットケアは足部の見た目が改善されるだけでなく、痛みの解消、さらには日常の活動性向上にもつながるケアです。

足浴



皮膚の状態の確認



爪切り



保湿・マッサージ



7月に行われたフットケアサービスの様子



◆らいつ中板橋



◆らいつ町田

※上記写真等はご本人様、ご家族様にご了承を頂いて掲載しております。

★フットケアサービスをご利用されたご入居者様の感想

「お風呂みたいで気持ちいいわね」

「足をこんなにきれいにするのは初めて!」

など、お喜びの声が続々!

事業責任者より皆様へ

株式会社らいつはQOL向上の為、

「フットケア」サービスを本格始動致します!

当社では2019年12月よりフットケアに取り組んで参りました。フットケアによる転倒予防効果が実証されましたので、より多くのご入居者様に体感頂くべく2020年7月1日より本格的に「フットケアサービス」(自費サービス)を開始することといたしました。

本サービスが、ご入居者様の生活の質の向上につながるサービスと確信しております。是非とも、ご活用ください。詳細は、改めてご案内申し上げます。



ホームページではこれまでの取り組み内容をより詳しくお届けしております。お手持ちのスマートフォン等でこちらのQRコードを読み取って頂き、ぜひご覧ください。

https://www.life-silver.com/life_effort/foot-care/



3. 「ITヘルスケア学会 緊急特別シンポジウム」にて 当社取締役 小林が登壇しました

2020年7月26日(日)に行われた「一般社団法人ITヘルスケア学会」主催〔緊急特別シンポジウム「COVID-19とICT、知る・考える・付き合う」〕にて、当社 取締役 小林が講演いたしました。
新型コロナウイルス感染症が医療や介護の現場にどのような状況を引き起こしているのか、介護事業会社を代表して当社の取り組みについて発表いたしました。当社の会議室にてWeb開催を行い、約300名の方にご覧頂きました。

取締役 小林の発表テーマ COVID-19と向き合う介護現場 ～感染予防と事業継続のあり方～

【当日使用スライド(抜粋)】

1 介護事業の今 ～事業継続～

「Withコロナ」と事業の安定運営・継続のミスマッチ
一度、属性能者が出るクラスターは必要。介護現場では、Withコロナはあり得ない。

事業継続のための取り組み

売上

- 入居率(稼働率)アップ
- 事業所の面数増とM&A
- 自費サービス進化
- 労務費・採用コスト抑制
- 派遣ゼロ
- 地域の元気な高齢者採用
- 外国人技能実習生

原価

- クオリティ
- 介護士
- 介護士
- 介護士

新たな業務「コロナ感染予防」の顕在

- 感染予防(消毒など)徹底
- 追加コスト発生
- 大量のマスク・グローブ・消毒液など一括発注
- 特別手当(社員処遇)
- 社内学習(社員処遇)
- 入居・入社時の管理徹底
- 感染コントロール
- BCP(有事対応)
- 情報・データの抑制(社内教育(情報教育)の徹底)
- 教育
- 危機感の醸成
- 入居者の身体機能維持と心理的負担軽減

【プログラム】

13:00-13:05
オープニングリマークス：磯部 陽（一般社団法人ITヘルスケア学会 代表理事）

13:05-
緊急特別シンポジウム「COVID-19とICT、知る・考える・付き合う」
座 長：黒木 春郎（医療法人社団嗣業の会 理事長/外房こどもクリニック 院長）

13:10-13:25
話題提供1：COVID-19診療の現場から
三村 一行（埼玉医科大学医学部総合医療センター総合診療内科 助教）

13:25-13:40
話題提供2：在宅医療の現場から
佐々木 淳（医療法人社団悠翔会 理事長）

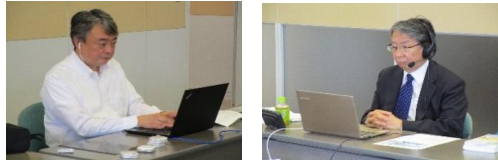
13:40-13:55
話題提供3：COVID-19と向き合う介護現場 ～感染予防と事業継続のあり方～
小林 司（株式会社らいふホールディングス 取締役/株式会社らいふ 取締役）

13:55-14:10
話題提供4：疫学統計の立場から
五十嵐 中（横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット 准教授/東京大学大学院薬学系研究科 医薬政策学 客員准教授）

14:10-14:25
話題提供5：COVID-19に伴うクリニックでのオンライン診療の実際
宮田 俊男（医療法人DEN 理事長/みいクリニック代々木院長/大阪大学医学系研究科 招聘教授/国立がん研究センター 企画戦略アドバイザー/厚生労働省 参与）

14:25-14:40
話題提供6：テラーメイドでバイタル異常値を検知する「安診ネット」のCOVID-19への応用
前田 俊輔（医療法人美容会 代表・理事）

【当日の様子】



総司会
木暮 祐一様



総司会
高瀬 義昌様



(株)らいふ
取締役 小林 司

Web開催の様子

開催要項
日 時：2020年7月26日(日) 13:00-16:30 会 場：(株)らいふ 本社会議室にてオンライン開催

4.月間「ケアワーク」の取材を受けました

2020年7月7日(火)に、月刊「ケアワーク」より取材を受けました。
今回の取材では弊社のシニアの採用をテーマに、「パワフルスタッフ」採用の仕組みや、シニア人材活用の効果や影響について、取締役の小林よりご説明いたしました。



(株) 社会保険研究所の方々(手前)、当社取締役
小林(奥右)と当社人事担当(奥左)

らいふのシニア採用

パワフルスタッフとは？

らいふではいきいきとやりがいをもって働きたいシニアの方をパワフルスタッフとして雇用しています。
ご入居者様のお話相手や趣味・特技を活かしたレクリエーションの企画など、職員には出来ないお仕事をお任せしています。

ホームページにパワフルスタッフの募集要項、
インタビューを掲載しています。是非ご覧ください。
こちらのQRコードからホームページをご覧くださいませ。▶



今回の取材内容は本誌9月号「シニア人材の採用と活用」についての
特集で掲載される予定です。掲載されましたら改めて、ホームページ上で
ご案内いたします。是非ご覧下さい。

【掲載予定 情報】
掲載予定雑誌：月刊「ケアワーク」9月号
テーマ：「シニアの採用」

5.ホームステーションらいふ大和にて 地域の皆様よりマスクを多数 寄贈いただきました



2020年7月2日(木)、ホームステーションらいふ大和(神奈川県大和市)に地域
のためにご尽力されている「大和リバティライオンズクラブ」様ならびに
「橋本様」よりマスクを多数 寄贈いただきました。
新型コロナウイルス感染症対策でマスクなどの感染予防資材の供給が十分でない
状況下で、ご支援いただき心より感謝申し上げます。
地域の方々よりこのような応援を頂くことは、介護の現場で働く者として大変
励みになります。
このご厚意にお応えべく役職員一同感染予防に全社を挙げて取り組んで参り
ます。また、介護のプロとして地域の方のお役に立てるよう一層 邁進して参り
ますので、介護でお困りの地域の皆様、ぜひ当社にご相談ください。

* 橋本様にご了承いただき、お名前を掲載しております

【感謝状贈呈】

マスクを寄贈いただいた大和リバティライオンズクラブ様ならびに橋本様へ
取締役 小林より感謝状を贈呈いたしました。



会長へ感謝状贈呈



橋本様へ感謝状贈呈



▲ 寄贈頂いたマスクは早速
使わせて頂いております



5-2.らいふ大和/マスク寄贈に関し 「タウンニュース」に掲載されました

2020年7月10日(金)発行、『タウンニュース
No.1158号(神奈川県大和版)』に、先日、ホーム
ステーションらいふ大和に「大和リバティライオン
ズクラブ」様ならびに「橋本様」よりマスクを多数
寄贈いただいたことが掲載されました。
当社は、**今後も地域の方と共に、より良い地域、
施設づくりに努めて参ります。**



寄贈頂いたマスク(一部)



橋本様より寄贈頂いた
手作りマスク(一部)



大和リバティライオン
ズクラブ様より寄贈頂
いたマスク(一部)

地元の介護現場に支援
大和リバティライオンズクラブがマスク寄贈

市内深見台の介護付付き
有料老人ホーム「ホーム
ステーションらいふ大和」
に2日、同じ深見台に住
む大和リバティライオンズ
クラブの中澤敬介会長か
らマスクが寄贈された。
マスクは、不織布マス
ク1000枚と同クラブ
が加盟する3300B地
区のオリジナルマスク30
枚、そして橋本さんの手
縫いマスク100枚。会
員で市議の青木正始氏の
紹介で寄贈に至った。
贈呈に立ち会った小林
司取締役は「医療現場の
崩壊が取りやめられる
中、介護の現場も崩壊を
阻止すべく日々奮闘して
いる」と現場の状況を説
明。「そんな中での寄贈
はとてもありがたい」と
感謝の言葉を述べた。

市内初の女性消防団
員。当時消防団長
だった青木さんに、
マスクの寄贈先を相
談したところ、「クラ
ブと一緒に」と持
ち掛けられた。コロ
ナの影響で仕事が無
くなってしまった橋本
さん。緊急事態宣言で外出
もままならない中、「自
宅に立寄ることはないか」
に立てることはないか
と考え、福祉や介護の現
場に手作りマスクを寄贈
することを思いついた。
テレビで西村(康徳)大臣
のマスクを見て、「鼻と
口が完璧に隠れており、
真似をしよう」と自分で
調べて作り始めたとい
う。手芸は苦手だったが
「時間があつたので毎日
0個に上った。接冷感
の生地や夏向けのデザ
イ生地を使うなど、工夫
も凝らしており、「その日
の気分を着まわしてら
えたら」と語った。

橋本さんの手作りマスク

▲ 掲載された記事